シャーシ管理

- Cisco UCS Manager GUI のシャーシ管理，1 ページ
- シャーシの削除および解放に関するガイドライン，3 ページ
- シャーシの確認，4 ページ
- シャーシの稼働中止，4 ページ
- シャーシの削除，5 ページ
- 単一シャーシの再稼動，5 ページ
- 複数のシャーシの再稼動，6 ページ
- シャーシの番号付け直し，6 ページ
- シャーシのロケータ LED の電源投入，7 ページ
- シャーシのロケータ LED の電源切断，8 ページ
- インベントリからのゾーン分割ポリシーの作成，8 ページ
- シャーシの POST 結果の表示，9 ページ

Cisco UCS Manager GUI のシャーシ管理

Cisco UCS Manager GUI によって Cisco UCS ドメインのすべてのシャーシを管理および監視できます。

Cisco UCS S3260 シャーシ

Cisco UCS Manager リリース 3.1(2) では、Cisco UCS 6300 シリーズの Cisco UCS S3260 シャーシ のサポート、6200 シリーズ ファブリック インターコネクト設定が導入されました。

Cisco UCS S3260 シャーシ は、スタンドアロン環境でも、または Cisco Unified Computing System の一部としてでも動作するように設計された、4U シャーシです。次の主要なコンポーネントがあります。

- 4 つの 1050 W AC 電源モジュール（2 + 2 共有および動作の冗長モード）
- 2 つのシステム I/O コントローラ（SIOC）スロット
- 2 つのストレージ スロット、そのうちの 1 つは拡張ストレージに使用可能

（注） シャーシの 2 番目のサーバ スロットは、追加の 4 台の 3.5 インチ ドライブ用の HDD 拡張トレイ モジュールで利用できます。

- 2 番目のサーバの代わりに、オプションの 4 台の 3.5 インチ HDD 拡張トレイ モジュールを含む 56 個の 3.5 インチ ドライブ ベイ
- 6TB HDD を使用した最大 360TB のストレージ容量
- 個々のサーバ モジュールに 3.5 インチ ドライブを割り当てるように設定できるシリアル接続 SCSI（SAS）エクスパンダ
- シャーシの 2 台のサーバは、IO エクスパンダを含む 1 台のダブルハイト サーバと交換可能です

Cisco UCS 5108 ブレード サーバ シャーシ

Cisco UCS 5100 Series ブレード サーバ シャーシは、論理的にはファブリック インターコネクトの一部であるため、一貫した単一の管理ドメインが形成され、管理の複雑性が軽減します。管理ドメイン内では、サーバ管理はファブリック インターコネクトによって処理されます。また、I/O およびネットワーク管理は、すべてのシャーシおよびブレード サーバに拡張されます。Cisco Unified Computing System は、ユニファイド ファブリックに基づき構築された I/O インフラストラクチャにより、単純で合理化されたシャーシを実現しつつ、包括的な I/O オプション群を提供できます。この結果、シャーシの基本コンポーネントは次の 5 つだけです。

- パッシブ ミッドプレーンとアクティブ環境モニタリング回路を備えた物理的なシャーシ
- 背面に電源入力が設けられた 4 つの電源ベイと、前面パネルからアクセスでき、冗長構成およびホットスワップ可能な電源装置
- それぞれ 2 つのファンを備えた、ホットスワップ可能な 8 つのファン トレイ
- 背面パネルからアクセス可能な 2 つのファブリック エクステンダ スロット
- 前面パネルからアクセス可能な 8 つのブレード サーバ スロット

ブレードサーバシャーシでは、取り外し可能なディバイダによって柔軟なパーティション分割が可能であり、次の 2 つのブレード サーバ フォーム ファクタを扱うことができます。

- ハーフ幅のブレードサーバでは、電源への接続と、2つの10GBASE-KR接続（各ファブリック エクステンダ スロットに1つ）を使用できます。
- フル幅のブレードサーバでは、電源への接続と、各ファブリック エクステンダに対して2つの接続を使用できます。

UCS Mini の拡張シャーシ

Cisco UCS Manager Release 3.1(1) では、既存の単一シャーシ Cisco UCS 6324 ファブリック インターコネクト セットアップ上で、拡張 UCS 5108 シャーシがサポートされるようになりました。この拡張シャーシ では、サーバ 8 台を追加して構成することができます。プライマリ シャーシとは異なり、拡張シャーシ では IOM がサポートされます。現時点では、UCS-IOM-2204XP および UCS-IOM-2208XP IOM がサポートされます。拡張シャーシ の接続には、FI-IOM のスケーラビリティ ポートのみを使用できます。

重要 現時点では、Cisco UCS Manager は UCS Mini に対して 1 台の 拡張シャーシ のみをサポートします。

拡張シャーシ を使用するには、次の手順を実行します。

- 2 台目の Cisco UCS 5108 シャーシを、既存の単一シャーシ Cisco UCS 6324 Series ファブリック インターコネクト構成に、スケーラビリティ ポートを使用して接続します。
- シャーシ ディスカバリ ポリシーを設定します。
- サーバ ポートを設定し、2 台目のシャーシが検出されるまで待機します。

シャーシの削除および解放に関するガイドライン

Cisco UCS Manager を使ってシャーシの削除や解除を実行するかを決定するときは、次のガイドラインを考慮します。

シャーシの稼働中止

物理的に存在し接続されているシャーシを、一時的に Cisco UCS Manager 設定から削除する場合は、シャーシの稼働停止を実行します。解放されたシャーシは最終的に再稼働することが予測されるので、シャーシ情報部分は Cisco UCS Manager によって、将来使用するために残されています。

シャーシの削除

削除は、システムから物理的にシャーシを取り外すときに実行されます。シャーシの物理的な削除が完了すると、そのシャーシの設定は、Cisco UCS Manager で削除できます。

（注） 現在物理的に存在し接続されている場合、Cisco UCS Managerからシャーシを削除できません。

削除されたシャーシを設定に追加し直す必要がある場合、再接続し、再検出する必要があります。再検出中、Cisco UCS Manager は以前シャーシが持っていた ID と異なる新しい ID を割り当てます。

シャーシの確認

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 確認するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域の [Acknowledge Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
Cisco UCS Managerによって、シャーシの接続が解除され、システム内にシャーシとファブリックインターコネクトとの接続が再確立されます。

シャーシの稼働中止

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 稼働を停止するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Decommission Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
稼働が停止するまでには、数分間かかります。シャーシが設定から削除されると、Cisco UCS Manager はシャーシを [Decommissioned] タブに追加します。

シャーシの削除

はじめる前に

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 削除するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Remove Chassis] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
削除が完了するまでに数分かかる場合があります。

単一シャーシの再稼動

（注） この手順は、Cisco UCSC S3260 シャーシ には適用されません。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] ノードを展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 5 再稼動するシャーシに対して、次の手順を実行します。

a) シャーシを右クリックし、[Re-commission Chassis] を選択します。

b) [Re-commission Chassis] ダイアログボックスの [Chassis ID] フィールドで、文字を入力するか矢印を使用してシャーシに割り当てる ID を選択します。

c) [OK] をクリックします。

ステップ 6 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。
この手順が終 了するまでに数分かかる場合があります。シャーシが再稼働すると、Cisco UCS Manager はシャーシ検出ポリシーを実行し、シャーシを [Navigation] ペインのリストに追加します。

複数のシャーシの再稼動

（注） この手順は、Cisco UCSC S3260 シャーシ には適用されません。

（注） 複数のシャーシを同時に再稼動する際に、シャーシの番号を付け直すことはできません。Cisco UCS Manager は、各シャーシに以前割り当てられていた同じ ID を割り当てます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] ノードを展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 5 再稼動する各シャーシの行で、[Re-commission] チェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [Save Changes] をクリックします。

ステップ 7 Cisco UCS Manager GUI に確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。この手順が終 了するまでに数分かかる場合があります。シャーシが再稼働すると、Cisco UCS Manager はシャーシ検出ポリシーを実行し、シャーシを [Navigation] ペインのリストに追加します。

シャーシの番号付け直し

（注） この手順は、Cisco UCSC S3260 シャーシ には適用されません。

はじめる前に

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 [Chassis] ノードに以下が含まれていないことを確認してください。

- 番号を付け直すシャーシ
- 使用する番号を持つシャーシ

これらのシャーシのいずれかが [Chassis] ノードにリストされている場合は、それらのシャーシの稼働を停止します。続行する前に、稼働停止 FSM が完了し、シャーシが [Chassis] ノードにリストされなくなるまで待機する必要があります。これには数分かかる場合があります。

ステップ 4 [Chassis] ノードをクリックします。

ステップ 5 [Work] ペインで [Decommissioned] タブをクリックします。

ステップ 6 番号を付け直すシャーシについて、次の手順を実行します。

a) シャーシを右クリックし、[Re-commission Chassis] を選択します。

b) [Re-commission Chassis] ダイアログボックスの [Chassis ID] フィールドで、文字を入力するか矢印を使用してシャーシに割り当てる ID を選択します。

c) [OK] をクリックします。

ステップ 7 確認ダイアログボックスが表示されたら、[Yes] をクリックします。

シャーシのロケータ LED の電源投入

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 位置を特定する必要があるシャーシをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Turn on Locator LED] をクリックします。
ロケータ LED の電源がすでにオンになっている場合、この処理は実行できません。

シャーシの LED が点滅を開始します。

シャーシのロケータ LED の電源切断

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 ロケータ LED の電源をオフにするシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [Turn off Locator LED] をクリックします。
ロケータ LED の電源がすでにオフになっている場合、この処理は実行できません。

シャーシの LED の点滅が停止します。

インベントリからのゾーン分割ポリシーの作成

既存のインベントリとディスクの所有権からディスク ゾーン分割ポリシーを作成できます。

（注） 既存のインベントリからディスク ゾーン分割ポリシーを作成すると、Cisco UCS S3260 シャーシ でのみサポートされます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 ゾーン分割ポリシーを作成するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で、[Create Zoning Policy from Inventory] をクリックします。

ステップ 6 表示された [Create Zoning Policy from Inventory] ダイアログボックスで、次を実行します。

a) [Disk Zoning Policy Name] を入力します。
b) ポリシーを作成する組織を選択します。
c) [OK] をクリックします。

ステップ 7 表示される確認ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

シャーシの POST 結果の表示

シャーシ内のすべてのサーバおよびアダプタに対する Power On Self-Test プロセスで収集されたすべてのエラーを表示できます。

手順

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] の順に展開します。

ステップ 3 Power On Self-Test（POST）の結果を表示するシャーシを選択します。

ステップ 4 [Work] ペインで、[General] タブをクリックします。

ステップ 5 [Actions] 領域で [View POST Results] をクリックします。
[POST Results] ダイアログボックスに、シャーシ内の各サーバとそのアダプタに対する POST の結果が一覧表示されます。

ステップ 6 （任意） アダプタのプロパティを表示するには、[Affected Object] カラムをクリックします。

ステップ 7 [OK] をクリックして [POST Results] ダイアログボックスを閉じます。